



平成22年 7月号

夢をつなぐ 心をつなぐ 世界をむすぶ  
きぬがわ せいさ こうぎょう

衣川製鎖工業株式会社



衣川 重夫

## 『開館から1年』

2009年7月19日に開館した『鉄のふしぎ博物館』、新聞などで（神戸新聞・産経新聞・姫路ケーブルテレビなど）何回か紹介されたこともあり、大勢の来館者を迎えました。賑やかな子供達をつれた親子、刀鍛冶、鉄分析の専門家、火縄銃の研究者、鉄の歴史に興味をお持ちの方、古代の製鉄を再現しようとしている方、ステンレス鋼を販売している業者の方、小学校の先生などなど、年齢は6才～80才、東は東京から西は福岡まで、職業も環境も異なった人達が個人で、また友人と共に来館され、その数は100名を超えました。

私が持っているより、ここに展示してもらったほうが大勢の人に見て頂けるので良いです。私はたくさん持っているの、これを1つ展示してください。こんな人達から色々な珍しいものが集まっています。『磁鉄鉱』、『高師小僧（たかしこぞう）』、『ソブ』（赤い水）それから作られた鉄（『夢通信』に掲載の予定）、『オガ（大鋸）』、『犬釘』、『鉾（けら）』、最新の技術でアモルファス合金を表面に吹き付けた錆びないパイプなどなど・・・。

『これ何ですか？』お寺の跡地から見つかった古い金具を持って来られた方もあります。またご来館頂いた方に誤りを訂正して頂いた例もあります。『軒金具』と表示していた、9mmx30mmx380mmの金具（お寺の軒を吊る：約1kg）は正式には『桔木吊（はねぎつり）』と言うと文化財保護の仕事をしておられる、大工さんに教えて頂きました。

また、逆に『鉄のふしぎ博物館』に展示してある『ストロマトライト』の画像が欲しい、こんな依頼がありお送りしたところ、今春発売された「地球外生命体の謎」を楽しむ本、著者 長沼毅 発行者PHP研究所（P149）に掲載され、寄贈と書かれた本が届きました。

『鉄のふしぎ博物館』の開館から1年、これまでにない色々な方々との出会いが始まり、楽しい情報がどんどん集まって来ています。この鉄を知る、楽しむ活動を通じて、鉄に興味を持った人々の輪が広がってゆくことを期待しています。今後とも皆様のご来館を楽しみにお待ちしております。ぜひ、ご予約の上ご来館ください。ご予約の無い場合にはご説明が出来ないことがあります。



鉄のふしぎ  
博物館  
開館から1年

磁石（じしゃく）

夢をつなぐ 心をつなぐ 世界をむすぶ  
きぬがわ せいさ こうぎょう  
衣川製鎖工業株式会社

〒672-8039  
ひめじし しかまく あなせ わたしは  
姫路市飾磨区阿成渡場 1111  
TEL 079-234-1515  
FAX 079-234-1519  
E-mail:ryou@memenet.or.jp

来て！見て！触れて！ ふしぎ体感！！

「鉄のふしぎ博物館」開館

来て！見て！ふれて！ ふしぎ体感

鉄を見る目がかかりますよ。  
ぜひお越しください。



見学にはご予約が必要です。申込書をメール又は FAX でお願ひします。様式は以下にあります。

<http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/museum/hushigi.doc>

むらの鍛冶屋®



何でもお気軽にお尋ねください！！